



平成27年度 滝沢市医療懇話会

ごあいさつにかえて

平成27年9月16日(水)

岩手西北医師会

高橋 邦尚



# なぜ、岩手医大と西北医師会の 協力が必要か？

現在、岩手医大高次救急センターの  
患者総数(on the walk)の約35%は、  
滝沢市を含む岩手郡の住民である。



**その医大が矢巾に移転する**

**不安に思っただけはいられない！**

**何とか連携の形をつくりたい！**





# 手はじめとして滝沢市の在宅医療 TRIAL!

地域医療後方支援

岩手医大  
医療連携室

岩手医大  
緩和医療科



在宅ボックス  
滝沢一栗石



岩手西北医師会  
岩手八幡平歯科医師会  
岩手県薬剤師会

地域の訪問看護ステーション

地域の後方支援病院

国立盛岡病院、盛岡市立病院  
栃内第二病院、滝沢中央病院

滝沢市包括支援  
センター

滝沢一栗石  
ケアマネジャー  
協議会

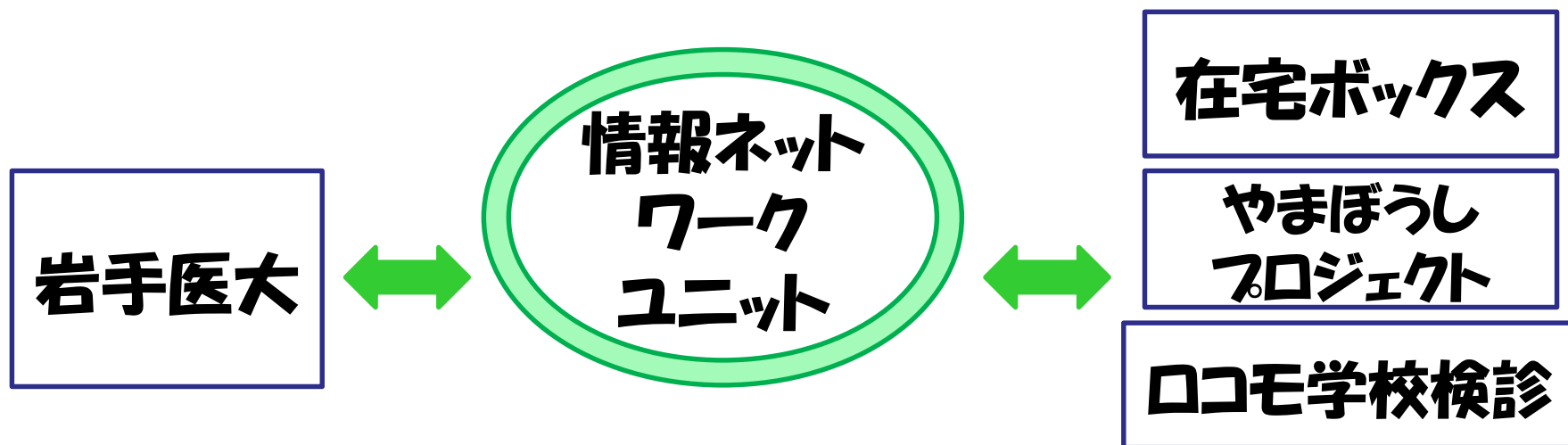
地域の施設



## 今後は

- ① 認知症(やまぼうしプロジェクト)
- ② 在宅医療(在宅ボックス)
- ③ ロコモ学校検診

これらに対する岩手医大ー岩手西北医師会の確固たる、そして実務的な医療連携のシステム構築を目指したい。





## 最後に

① 岩手医大は近々、矢巾に移転します。(現実！)

一方で…

② 岩手医大は新しい選択を行い、実践しつつある。

③ リーダーが強い意志を持って方向性を決めた。

④ 岩手西北医師会は、不安を並べるより、岩手医大と共に協力して新しい地域医療の形を作っていきたい。

⑤ 行政、歯科医師会の皆様の御支援を賜りたい。

⑥ 結果は歴史が評価する。



ご清聴ありがとうございました。



岩手西北医師会

高橋 邦尚

*Yutorigaoka.C.L*